【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公開番号】特開2008-203952(P2008-203952A)
【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)
【年通号数】公開・登録公報2008-035
【出願番号】特願2007-36305(P2007-36305)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/50　(2006.01)
Ｈ０１Ｂ　13/012　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/50　６５０Ｚ
Ｈ０１Ｂ　13/00　５１３Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月16日(2010.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８８】
そうすると、電線Ａの接続先は電線分岐ではないので、最短の引き当て経路の算出を行う（ステップＳ４０６）。ここで、電線Ａは装置αと装置βとを接続するものであるため、経路ａ、経路ｂを電線Ａの引き当て経路としてリンクする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９１】
そして、電線分岐の位置を算出すると、最短の引き当て経路の算出を行う（ステップＳ４０６）。ここで、電線Ｂは電線分岐と装置γとを接続するものであるため、経路ｃを電線Ｂの引き当て経路としてリンクし、電線引き当て処理を終了する。